

## 研究協力をお願い

昭和大学病院附属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

連結型ループ針を使用した眼内縫着法による脱臼レンズ再利用縫着術の検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

対象：連結型ループ針を使用した眼内縫着法による脱臼レンズ再利用縫着術を施行した方

研究対象期間：2020年3月から2021年9月

### 2. 研究目的・方法

眼内レンズ脱臼に対しては、通常、脱臼した眼内レンズを眼内から除去し、別の眼内レンズを固定する必要があります。別の方法として、脱臼した眼内レンズをそのまま眼球に縫いつけて固定する方法がありますが、針糸の取り扱いが煩雑で手術難易度は高くなります。しかしこの場合は眼内レンズを除去する必要が無いため、眼球に対する侵襲は除去する場合よりも少なくなります。

今回、連結型ループ針という針糸を使用して脱臼した眼内レンズを除去せずに、そのまま眼球に固定する方法を開発しました。連結型ループ針を使用することにより針糸の取り扱いが従来よりも容易になり、より安全に手術が施行可能となります。

今回、眼内レンズ脱臼に対して連結型ループ針を使用して脱臼レンズを縫着固定した症例の手術成績を検討します。対象となる方のデータは、病院内の診療録管理室にて「診療録等の調査項目」に記載した情報を取得します。

### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査の承認後、委員会から発行される「結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、～2021年12月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

脱臼 IOL の状態（囊内・囊外脱臼）、脱臼 IOL の種類と再利用成功率、手術時間、術後視力、角膜内皮細胞密度減少率、惹起角膜乱視、IOL 偏心・傾斜、術中・術後合併症

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及

び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院附属東病院眼科  
(医学部眼科学講座)

氏名：浅野泰彦

住所：東京都品川区西中延 2-14-19

電話番号：03-3784-8553

研究責任者：浅野泰彦